

令和8年度 函館市医療・介護・障がい福祉連携多職種研修会～介護・障がい福祉関係者向け～
アンケート集計結果(令和8年6月12日開催分)

n=57 (回収率 57.0 %)

研修参加人数:100名

1. 所属エリアをお聞かせください。

・函館市	55	(55.0%)
・北斗市	1	(1.0%)
・七飯町	1	(1.0%)
計	57	(57.0%)

2. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	8	(8.0%)
・介護機関	39	(39.0%)
・障がい福祉機関	2	(2.0%)
・その他	8	(8.0%)
計	57	(57.0%)

3. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・医師	0	(0.0%)
・歯科医師	0	(0.0%)
・薬剤師	2	(2.0%)
・保健師	2	(2.0%)
・看護師	2	(2.0%)
・ケアマネジャー	23	(23.0%)
・相談員	10	(10.0%)
・介護職員	8	(8.0%)
・歯科衛生士	0	(0.0%)
・栄養士	0	(0.0%)
・リハビリスタッフ	1	(1.0%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・マッサージ師・鍼灸師	0	(0.0%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・障がい福祉サービス経験者(障がい児支援に限る)	1	(1.0%)
・事務員	2	(2.0%)
・その他	6	(6.0%)
計	57	(57.0%)

4. 今回のテーマ(内容)はいかがでしたか？

・よかった	54	(54.0%)
・どちらともいえない	3	(3.0%)
・よくなかった	0	(0.0%)
計	57	(57.0%)

【ご意見等】

【医療機関】

<薬剤師>

- ・精神科のある病院の門前の薬局勤務歴がないので、とても勉強になりました。

<看護師>

- ・講師の方々の資料がとても見やすかったです。また、お二人ともエピソードも交えつつ研修が進んでいき、聞き手も想像しながらしっかり理解できる内容になっていたと思います。精神科と聞くと人によってハードルがあがる分野だと思いますが、少しでもそのハードルが下がったのではないかと思います。

【介護機関】

<保健師>

- ・わかりやすかったです。

<ケアマネジャー>

- ・施設的に問題があっても精神的には問題がなく、診療が終わってしまうケース、在宅で精神症状が悪化するケースを多数目にしています。どのような連携が必要かお互いの立場を理解した上での対話が必要であることを考えさせられました。
- ・七飯町が勤務地のため、ななえ新病院にお世話になることが多い。療養病床の事情についてとても理解できたので良かったです。
- ・知っていたようで知らなかったことがたくさんあり、お互いを知ることが良い連携の第一歩と感じました。
- ・各病院の特徴や現状を知れて勉強になりました。お互いに相談しやすい関係になりたいです。
- ・精神科受診は中々難しいが、早めの受診が重要であることが改めてわかった。
- ・医療保護入院、医療区分など勉強になりました。ありがとうございました。
- ・それぞれの病院のしくみ等について、聞くことができ良かった。
- ・悩むより相談してよいケアにつなげていきたいと思いました。
- ・病院の特徴を知れた。(医療療養病床について)
- ・とても参考になりました。

<相談員>

- ・今回、ななえ新病院の説明を伺い、大変参考になりました。普段から利用者の入院相談や新規利用者の相談等で、ななえ新病院にはお世話になる機会があるため、今回改めて病院の取り組みや支援体制について知ることができ、大変勉強になりました。今回学んだ内容を今後の相談支援や連携に活かしていきたいと思います。
- ・精神科や医療療養病床について関わることは多いですが、知らないことが多くあり、改めて学ぶことができて良かったです。
- ・病院側の考え方を知ることができ、今後の連携に活かせると感じました。
- ・ななえ新病院の越中さんの講演が良かったです。
- ・それぞれの話を聞けて大変良かった。

<介護職員>

- ・今回の研修で精神医療について、気軽に相談できる関係づくりや本人にとって何が最善か話し合い考えていくことを学びました。

<社会福祉士>

- ・分かりやすい講演でした。勉強になりました。

【障がい福祉機関】

<自立支援相談員>

- ・精神科への受診は、本人のイメージを変えるほぐすことが大変です。療養病床についてよく知ることができた。

<サービス管理責任者>

- ・精神科の入院体制については、わかりましたが、通院中の患者さんへのフォロー体制を知りたい。

【行政】

<事務員>

- ・ 普段聞くことができない精神科の話が興味深いものでした。大変勉強になりました。

5. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

【医療機関】

<薬剤師>

- ・ 保険薬局という立場ですが、症例検討会や患者等の受入に関して相談したりする実技的な研修会。
- ・ 認知症及びその対応方法など。
- ・ 介護施設の種類と実情。

<相談員>

- ・ 一つのテーマに対して各職種から発表していくスタイルとかが良いかと思います。
- ・ より具体的な事例等を用いた連携について。

【介護機関】

<保健師>

- ・ 在宅⇄医療のもう少し突っ込んだ内容(こうしたら連携しやすいなど)。
- ・ 今まで通り。

<ケアマネジャー>

- ・ 具体的な事例も多く知りたいです。(実際の支援の流れなど)
- ・ 精神科について、もっと知りたいです。
- ・ 困難事例対応等。
- ・ 事例発表。
- ・ 災害支援。

<相談員>

- ・ 今回と同様に他医療機関の情報を聞いてみたい。
- ・ 成年後見制度について包括支援センター職員からのお話を聞きたいです。

<介護職員>

- ・ 認知症利用者、患者への対応での困難事例や対応、良かった例など。
- ・ 認知症のケアについて。

【障がい福祉機関】

<サービス管理責任者>

- ・ ケースとして少ないのかもしれませんが、重度心身障害者に対する地域での医療体制やレスパイト入院体制など知りたい。

6. その他、ご意見・ご質問等ございましたらご記入ください。

【医療機関】

<看護師>

- ・ お仕事の合間に今回の研修を準備してくださった関係者の皆様、お忙しい中、学びの機会を設けてくださりありがとうございました。

【介護事業所】

<相談員>

- ・ 森岡さんへの質問
医療保護入院の同意について、同意する家族間で入院に対する意向が反する場合（事例でいう対象者の父は同意、夫は反対）は、どのように対応を行っていますか？

<介護職員>

- ・ シフト制の職員が多いため参加しにくいことあり、動画で見れる研修を増やしてもらえるとありがたいです。

【障がい福祉機関】

<サービス管理責任者>

- ・ もう少し障がい福祉分野に関わる話が聞きたい。